

開催日 2023年11月15日(水)

2023年11月15日(水)に正智深谷高等学校「訪問学習」のイベントが義肢会館にて開催されました。今回は、正智深谷高等学校から、特定非営利活動法人学校サポートセンターを通して依頼があり、実施されました。

当イベントの目的は、生徒が多様な職業があることを知るキャリア教育の一環として、各企業等を訪問し様々な職業について学び、自分の進路を考えるきっかけにすることです。

今回、高校1年生の生徒さん6名が参加し、義肢装具士の仕事について学んでいただきました。

プログラムは10:00～11:30の90分で、

- ・義肢装具士について(仕事内容、役割、やりがいなど)の講義
- ・義肢装具サンプルを使用した説明
- ・質疑応答

という内容で行いました。

90分という時間を頂けましたので、義肢装具士についてより詳しい講義ができ、義肢装具のサンプルを使用した説明では実際の義肢装具に触れてもらうなど、義肢装具士について具体的に知っていただけたと思います。

正智深谷高等学校の訪問学習授業は、生徒さん達が様々な職業の企業を訪問し、それぞれの仕事について具体的に知ることで、高校生のうちから自分の将来を見据えて学習に取り組める良い授業であると思いました。

以下にイベントの概要を説明します。

イベントの内容と様子

【講義】

学校指定の必須内容は以下のものでした。

- ①義肢装具士の仕事の役割と内容
- ②義肢装具士資格の内容と主な職場
- ③仕事のやりがい、大切にしていること

この内容に加えて、自分の体験談も含めて義肢装具士について説明をしました。

【義肢装具サンプルでの説明】

実物の義肢装具をサンプルとして用意し、それぞれについての説明と、実際に生徒さんに触れてもらい、義肢装具の実際の重さ、硬さ、動きなどを感じていただきました。

【質疑応答】

事前に生徒から挙げられた質問書があり、それについて回答をしました。



< イベントの様子 >

イベントを終えて...

今回は、講義・サンプル説明・質疑応答という内容で、かなり具体的に義肢装具士について説明をすることが出来ました。イベント開始時には義肢装具士について生徒全員があまり知らないと言っていましたが、イベント後の感想にあるように、義肢装具士についてより詳しく知っていただけたと思います。

高校卒業は、進学や就職など将来に向けた分岐点であり、高校生のうちに様々な職業について知ることはとても重要であると思います。今回のイベントは、生徒たちの進路を考える手助けになり、更には義肢装具士の啓発にもなりましたので、開催できて良かったと思います。

最後に、事務局となって下さった、特定非営利活動法人学校サポートセンター様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

担当幹事：菅野 太洋

アンケート(生徒の感想)

・義肢装具士になるためには、どのようなことをすればよいかや、義肢などをどのように作っているのかがわかりました。クイズもあってすごく楽しかったです。義肢装具士が普段どんな仕事をしているかわかりました。

・今回、企業訪問で参加させていただく前までは義肢装具というのは、身体の一部が無いなどの人を対応している仕事だと思っていたんですが、私が思っていたものが義肢で、怪我をした時の補助するものを装具ということを知りました。また、義肢にも装具にも色々な種類があり、患者さんに合わせて作っていくということで、とてもすごいと思い、患者さんのために作るのを患者さんと直接接していく仕事ということがわかりました。

・義肢や装具の目的の違いや仕組みを知れてよかったです。クイズもあって楽しく学ぶことが出来ました。

・たくさんの義肢と装具があることを初めて知った。100万円以上する物もあってびっくりしました。患者の要望に答えつつ義肢装具を作っていて凄いなと思った。

・義手や義足と聞くと、パラリンピックなどで見かける機会が多く、あまり身近なものではなかったのですが、今回、義肢装具士というお仕事を初めて耳にして、義肢にも部品や機能により様々な違いがあること、靴型装具などのデザインのものまで、幅広く知ることができました。また、実際に義肢、装具に触れさせていただいたり、義肢装具士になるまでのきっかけや魅力まで細かく説明してくださり、とても分かりやすかったです。

・どんな職業かお話を聞き深く関心を持つことができました。義肢装具士について自分でももっと調べたいと思います。